



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER  
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17  
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN  
 PHONE (06)344-1717

カット 柴田 健

FEBRUARY, 1989 VII-8

1988-1989		THEME
IP	共に歩き友となる	WALK BESIDE ME AND BE MY FRIEND
RD	核心 拡充 活発 改革	VISION VOICE VITALITY
DG	理想を追い求めよう	WE GROW OLD BY DESERTING OUR IDEALS
CP	クラブコミュニケーションの輪を強めよう	LET'S MAKE OUR CLUB OPEN & FRIENDLY

EMPHASIS THIS MONTH... TOF・CS の月

### 今月の聖句

あなたはいけにえを好まれません。  
 たといわたくしが燔祭をささげても  
 あなたは喜ばれないでしょう。  
 神の受けられるいけにえは砕けた魂です。  
 神よ、あなたは砕けた悔いた心を  
 かるしめられません。



### 統計 (STATISTICS)

会員数	37名	ニコニコ献金 (1月)	
第一例会会員出席	14名	13,950円	
第二例会会員出席	10名		
メークアップ	5名	BF 現金	切手
出席率	51.35%	12月	0 912pt
		1月	0 576pt
ゲスト&ビジター	2名	累計	81,000 13,018pt
メネット&コメント	2名	EMCファンド	
		579,389円	

### 2月第1例会プログラム

(今月のテーマ: TOF CS)

日時 1989年 2月 15日 (水) P.M.6:30-8:30

場所 堂島YMCA国際 社会奉仕センター

司会 柴田君

1. 開会 会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読 佐藤君
4. ゲスト紹介 会長
5. 「留学生は今」  
 - 留学生を囲んで、「国際化」を考える -
6. スピーチ 「聖地を旅して」 田中穰二君  
 「ポルトガルを旅して」 田中美果コメット
7. お誕生日祝い
8. ニコニコ献金 ドライバー
9. 役員会、委員会、YMCAニュース
10. 閉会 会長

☆今月はTOF(タイム・オブ・ファースト)の月。

お食事はありません。ちょっとした空腹を味わいながら、日本へやって来ている留学生の事、「国際化」のこと、そして世界中の私達の助けを必要としている人たちのことを考えてみませんか?

### 今月の例会当番

第5班: 鈴木、藤本、河野、柴田、福永、佐藤  
 の皆さん準備、後片付け等ご協力お願いします。

第1例会: 1989年 2月15日 (水) PM 6:30~

場所: 堂島YMCA国際・社会奉仕センター

第2例会: 1989年 2月22日 (水) PM 6:30~

場所: 同上

1988年12月の切手提供者—鈴木君、上月君、山田君、  
 国際・社会奉仕センター

1989年 1月の切手提供者—鈴木君、山田君、黒田君  
 田中君、杉浦君、掛江君、森君、藤原君



## 1月例会報告

杉浦眞喜子

今年最初の例会には、二つのイベントがありました。一つは中堂兄の入会式、そしてもう一つはゲストスピーカーのお話です。

中堂兄の入会式は当初、7日の中西部新年合同例会でなされるはずだったのが、「昭和最後の日」とかちあいお仕事の関係（新聞社にお勤め）で、合同例会にご出席になれなかった由。それで、プログラムには載っていませんでしたが、この例会での入会式となりました。

海外出張の平田会長に代わり、山村副会長の式文朗読の後、中堂兄の力強い「入会します」との宣誓で、簡潔にして厳粛な入会式が行われました。新しい年の最初の例会に、また一人新しい仲間を迎えることが出来て、今年も我がクラブはなかなか良いスタートですね！

さて、ゲストスピーチは、新年にふさわしく「野草の楽しみ」という趣深い題で、神戸女子薬科大学の高尾植雄先生のお話でした。野草のスケッチのスライドを見ながら、それぞれの草にまつわるエピソード、ちょっと学術的なお話など、時の経つのも忘れて楽しむことが出来ました。

「毒だみの天ぷら」のこと、「＼からすのえんどう」と「すずめのえんどう」の雑種に「かすまぐさ」（意味が解りますか？）というふざけた名前が付いていること、「ペロニカ・ベルシカ」という優美な学名の付いている草に、なんと「おおいぬの・・・」なんていうかわいそうな日本名が付いている」（この花、実はとってもかわいいんですよ！）ことなど etc. 思わず吹き出してしまったり、「エー！」と驚いたり、内心にんまりしたり。もしかして、私達のうちの何人かには、これから春にかけて、通勤途中の道端の草に急に関心を持つようになったり、休日にちょっとその辺に「草」を見に出かけたり。そんな「症状」の現れる人が出るのではないかと？私は密かにそれを恐れ、期待しています。それこそ「草病」蔓延の兆しだからです。でも、「いままで何の関心も持たなかったものに興味をもつようになる」ということは、新しい世界を自分の内に持つようになること。新しい年にそんな経験も又いいのではないのでしょうか？

最後に私達は、ちょっと悲しい決定をしなければなりません。5月に我々の仲間を迎え入れ、私達にいつも楽しい働きかけをして下さっていた、笠松兄の退会に関する件です。ご本人の固いご決意とうかがいましたので、私達はこの決定をせざるをえませんでした。でも同兄がいつまでもお元気で、あの笑顔でたまには私達の所へ出かけて来てくださることがあれば良いなあと思わずにはられません。

## HAPPY BIRTHDAY

村田貞夫君	2. 3	松添 壮君	2. 5
川越利信君	2. 8	福永滋子メネット	2.16
田中豊子メネット	2.19	松尾 明君	2.19
河野良子メネット	2.24	皆本勝久君	2.25



## CS・TOFについて

委員長 田中 穰次

### (1) CSについて

今年のお年玉賀切手を下記の方々がお提供いただきましたので早速相馬日本区事業主任宛発送しました。提供者（枚数） 鈴木（12）、黒田（6）、杉浦（4）、藤井道（6）、平田（8）、中村（8）、田中（16）、計60枚。なお、未提出の方は2月に発送しますので是非御提供下さい。

### (2) TOFについて

タイム・オブ・ファースト（TOF）はご承知のように毎年月に断食例会をもち、それを世界の恵まれない人々に捧げる活動ですが、最近では家庭でもファミリーファーストをとり上げていただくようになっていきます。

下田クラブ作成の竹筒貯金箱を1月例会でお渡しました。

当委員会では是非ご家庭の皆様のご賛同を得て来年2月のTOF例会に貯金箱を一杯にしてご持参下さることを願っています。

## 日本区分割について

平田 雅利

1987年より日本区を分割したらと意見が日本区役員会にて提案され、分割委員会が設置されました。分割のメリットについては国際におけるリーダーシップの強化や日本区の活性化などあげられるが、多くのデメリットもあり、今後色々と検討されていく模様です。



新しい年、1989年の初めに強く感ずる事ども一

鈴木 謙介

先月号ブルティン-2-拙稿下から8行目の35年近くとあるのは45年の誤りです。ご訂正を請います。さて、この標題で「つゞき」を投稿します。責任は私に在ります。

今日はふたつのワイズにとって重要なことにふれさせてもらいます。

1. 「イエス・キリストの教えにもとづいて」ということはワイズなら誰もが一番注意を払い、承知している言葉です。われわれの運動はこれを基本として創立以来行はれてきたことは当然です。さて、この基本と共に、あらゆる信仰の人々が宗教信条の相違をこえて———全人類の為のよりよい世界を築くべく尽力するものであると言う言葉が続いていることを忘れてはならない。日本は宗教信仰の状況は一風変わって世論調査などで無宗教と答える人が非常に高い率を占めているのは一つの特徴である。このことの善し悪しは評者にまかせるとして、ワイズの会員の中にこの種の人々が多数あり、その数はクラブの増加につれてふえて行きつゝあると見てよい。それではこれらの人以外にはどんな人々があるかと言うと、クリスチャンである。この中には、教会に所属し主日礼拝を忠実に守っている熱心といわれるキリスト教信者と教会には今は行っていない、いつか教会に行くかどうか別に決めてはいない、しかしイエスキリストの教えは或程度知っていてそれは良いと思っている。先祖からのお寺や神社などの関わりがあって敢えて中間的態度を続けている。又他の種の人々は数は少ないけれども仏教、神道、イスラム教、ユダヤ教、或は新興の宗教をはっきり自らの宗教としている人々である。

日本のクリスチャンの中には他の信仰者をノンクリスチャンと呼び、クリスチャンが本もので他のものは本ものではないと思いをしているのではないかと思はれる人があるのは否定できない。ワイズの中にこの種のクリスチャンが無いとは言えない。この種の人々はイエス・キリストの教えに遠い人々だと思います。私の体験ではこの様なゴーマンさから離れて、イエス・キリストの教えられた、謙虚な生活態度に徹することに努めたつもりでも、随分、友人を傷つけたであろうことを反省して悲しい思いをしています。

ワイズは教会ではない。YMCAでもない。それこそあらゆる種類の人々—老若男女、貧富、国籍、宗教、職業の差を越えて人間としてこの地球時代に、自由に、自主的に、家族をひき入れて、一時のつき合いでなく、長い行程で、良き友を見出す旅行のようなものだと思います。紙幅の都合で2.の方は3月号にゆづります。

YMCAニュース

### ◎YMCA日本語学科の学生に20才のプレゼント

20才になったというのはなかなか思い出深いものです。私はその頃、アサヒキャンプというのに所属していてその母体が成人を祝ってくれたのを思い出します。お話をきいて、プレゼントとして、山岳手帳が何かをいただきました。あまりつかいかってはなかったのですが。

昨年からはYMCA日本語学科の学生に成人のお祝いを始めました。20才になった人もおりますが、まだ、20にならない学生もいます。

今年は昨年クリスマスにメネット会からいただいたご寄付を使わせていただきました。

1月13日(金)当日は平田、田中、谷川、柴田各メネット及び森コメントにも来ていただき、ジュースで乾杯、おかしをいただきながら7人の人に記念品、色紙をわたしました。なごやかな会になりました。

**WELCOME TO OSAKA**



第44回ワイズメンズクラブ国際協会  
**大阪日本区大会**  
と き  
1989年6月17日(土)~18日(日)  
と ころ  
大阪市中央公会堂・ロイヤルホテル  
ホストクラブ  
大阪高槻ワイズメンズクラブ

### 書記よりのお知らせ

#### ・一泊親睦会のお知らせ

昨年4月の「サンバレス枚方」での楽しい一泊親睦会を憶えておられる方も多いと思いますが、今年もまた、4月1日(土)夕方—4月2日(日)にかけて、一泊親睦会を計画しております。場所は芦屋市奥池にあります大丸百貨店の保養所です。

阪急電車芦屋駅から芦有道路を少し入った所です。緑多い自然の中で、ゆっくりと一泊で語り合ひましょう。解散してそのまま有馬まで車で行かれるのも楽しいかと思いますが、メネット・コメントをお誘い下さって家族サービスにどうぞ。会費はメン、メネットとも、お一人6,000円です。詳細は次月に。

・2月になりますと、ワイズメンでは次期役員を選出が始まりますが、その第一の手續きとして、「次期役員候補推薦委員会」が2月1日(水)午後6時30分より、堂島のYMCA国際社会奉仕センターで行われます。この推薦委員会の構成メンバーは役員会で選ばれますが、1月の第二例会の役員会決定により、平田、中村、山田、森、谷川、杉浦、黒田の諸君が選ばれました。

・最後に、誠に残念な事ですが私達センテニアルワイズのメンバーであった笠松康彦兄がご自身の都合により退会の意志を表明され、1月第一例会において、それを会として了承し退会の手續きをとりました。



南米（アルゼンチン、ブラジル）を旅して Ⅰ

中村 隆幸

## はじめに

1988年10月9日より14日まで、南米パリといわれるアルゼンチンの首都ブエノスアイレス市において、第21回国際泌尿器科学会に出席した後、アルゼンチン、ブラジルを見て歩いたのでその印象を少し述べてみます。

## ブエノスアイレスの市内観光

成田から約15時間の旅の後、マイアミで一泊した。翌日、ニューヨーク始発アルゼンチン航空機に乗り込み、リオデジャネイロを経由して、約11時間後ブエノスアイレス市郊外のエセイザ国際空港に到着した。日系二世のガイドの案内で市内観光しながら、学会場であり宿舎であるシェラトンホテルに着き旅装を解いた。確かに南米のバリと言われるだけあって、古い石造りの建物や石像、像も多く、また緑も豊かであった。その一方で、広い道路や構想建築なども多数あり、近代的な都市に変わりつつあった。ホテルの前には時計台を中心とする美しい広場があり、以前はイギリス広場と呼ばれていたそうですが、フォークランド紛争以来アルゼンチン海軍広場と名称がかえられたとのことでした。この広場から少し南に行くとブエノスアイレスの中央大通りである「7月9日通り」に出る。この通りは世界一幅広い道路で、その中央広場には市制100年を記念して立てられたオペリスクがあり、仰ぎ見ると以前に訪れたバリのオペリスクを思い出させてくれた。そしてこの通りに面してバリのオペラ座、ミラノのスカラ座とならんで、世界の三大劇場の一つであるコロソ劇場の優美で重厚な石造りの建物を見ることが出来る。また、この「7月9日通り」と交差して東西に走る「5月通り」は、独立戦争を記念して名づけられ、西の端には国会議事堂、東には5月広場と大統領府があり、毎日午後5時には護衛兵の交替式が見られる。

ホテルの東側には広大なラプラタ川が茶色の水を満々とたたえながら流れていた。この川の河幅は加工付近では約200kmでありホテル付近ではやや狭く40kmとのことであった。河幅の大きさでは、アマゾン川、ナイル川に次いで世界で3番目であり、まるで海を見ているようであった。そして太陽がこの広大なラプラタ川に沈む様子は、本当に素晴らしく荘厳な感じが覚えた。 次号につづく

## ワイズソング -1-

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing,  
We raise our hand, Our service pledge renewing,

Ne'er to deny our motto's claim  
Y's Men in fact as well as name

## 私の家族 河野正義ファミリー

緑豊かで空気も清く、住環境抜群なれど交通地獄という両極端。僻地“川西清和台”に住みついて早や15年、世は平成へと移り替わり、我がファミリーも一応平静な昨今です。かく中卒当人（51才）は、まだ年のせいでもあるまいに、毎年5時半に起床（バカみたい）、6時前にマイカーで出発、交通地獄を克服しゆったり気分まで梅田着、本町までスタコラ朝の散歩と洒落こんで一日の始まり。夜、深夜、睡眠だけに帰宅する給料運搬車、休日はいつも不在のゴルフ人間。

かたや友引きで毎朝同時刻に付き合わされるオバタリアン良子（？才）、眠気マナコで壁にゴツン、やっと目覚めて一日の始まり。掃除、洗濯終了後、趣味に生き甲斐を見つけ出し、書道、木彫にバドミントン。筋肉通は専売特許、貧乏暇なしのくりかえし。

長男雅洋は、起床時間不規則でバイク通学（関西大2回生）工学部のせいか授業サボルもままならず、結構多忙な毎日で、ときどきテニスにCD鑑賞、覚えたて麻雀、小使い稼ぎに効率のよい重労働バイト。

長女行子（甲南女子大英文学科1回生）は、早朝から朝シャン、冬の寒さもナンノソノ、美への追求も涙ぐましい限り、バスにゆられて一路阪急岡本へ。何よりも“少年隊が命”のカッチャンの大ファン、カセットやビデオで家中騒音公害マキチラス。目下テスト中でひと時の静けさ、ヤレヤレ！！

各自マイペースでエンジョイ中の一応平静な河野ファミリーでした。

次は堀ファミリー、お願いします。

